

令和 6 年度事業報告書

(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

実施事業

○こども宅食事業

こども宅食とは、「つながり・みまもり・つなげる」ことを目的とします。食品の配送は、利用家庭の生活を支えながら“つながり”を生み出すための手段です。LINE や配送時の対面によるやりとりから、安心したつながりを少しずつ育てていく中で生活状況を把握し、状況が悪化するときの予兆を見つけて、そして、必要な情報や機会、適切な支援を提供していくことをめざします。

京都こども宅食プロジェクトは、令和 6 年度で 5 年目を迎えました。中京区・北区・伏見区・山科区に新たに上京区・東山区が加わり 6 区 836 世帯を対象に支援活動を行い、例年同様、梱包作業にはボランティアの皆様にご協力いただきました。また「体験型の支援」として、食作り体験や音楽イベント、スポーツ観戦等の様々なイベントの開催いたしました。宅食を通し、利用者様からは、「配送品のおかげで買い物や調理時間が減り、家族の時間を過ごすことができました。」「体験を通し、子どもが初めて“習ってみたい”と口にし、嬉しかったです」といったお声が届きました。

支援者様の中では、企業内でチームを立ち上げての取り組みや、個人様同士で情報を共有いただき、支援の輪を広げていくことができました。京都市 11 行政区でのご支援に向け、引き続き当プロジェクトをよろしくお願いいたします。

1 プロジェクト運営

(I) 事業の実施について

(i) 各配送の実施内容

令和 6 年度は配送累計回数 36 回と延配送世帯数 5,018 世帯へ配送することができ、就学支援を受ける対象世帯へよりサポートを行うことができました。

伏見区の対象世帯：262 世帯

中京区の対象世帯：178 世帯

北 区の対象世帯：209 世帯

山科区の対象世帯：108 世帯

上京区の対象世帯： 39 世帯

東山区の対象世帯： 46 世帯と支援の範囲を拡大することができました。

	R6 年第 1 回配送	R6 年第 2 回配送	R6 年第 3 回配送	R6 年第 4 回配送	R6 年第 5 回配送	R6 年第 6 回配送
中京区	6 月	8 月	10 月	12 月	2 月	4 月
配送世帯 数	171 世帯	177 世帯	177 世帯	178 世帯	177 世帯	177 世帯
実施方法 (梱包)	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア
実施方法 (配送)	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト

	R6 年第 1 回配送	R6 年第 2 回配送	R6 年第 3 回配送	R6 年第 4 回配送	R6 年第 5 回配送	R6 年第 6 回配送
北 区	7 月	8 月	10 月	11 月	2 月	4 月
配送世帯 数	208 世帯	208 世帯	208 世帯	209 世帯	208 世帯	208 世帯
実施方法 (梱包)	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア
実施方法 (配送)	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト

	R6 年第 1 回配送	R6 年第 2 回配送	R6 年第 3 回配送	R6 年第 4 回配送	R6 年第 5 回配送	R6 年第 6 回配送
伏見区	6 月	8 月	9 月	11 月	1 月	3 月
配送世帯 数	261 世帯	265 世帯	264 世帯	262 世帯	262 世帯	262 世帯
実施方法 (梱包)	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア
実施方法 (配送)	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト

	R6 年第 1 回配送	R6 年第 2 回配送	R6 年第 3 回配送	R6 年第 4 回配送	R6 年第 5 回配送	R6 年第 6 回配送
山科区	6 月	8 月	10 月	12 月	1 月	3 月
配送世帯 数	105 世帯	105 世帯	108 世帯	108 世帯	107 世帯	106 世帯
実施方法 (梱包)	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア
実施方法 (配送)	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト

	R6 年第 1 回配送	R6 年第 2 回配送	R6 年第 3 回配送	R6 年第 4 回配送	R6 年第 5 回配送	R6 年第 6 回配送
上京区	7 月	8 月	10 月	12 月	2 月	3 月
配送世帯 数	36 世帯	36 世帯	39 世帯	39 世帯	36 世帯	36 世帯
実施方法 (梱包)	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア
実施方法 (配送)	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト

	R6 年第 1 回配送	R6 年第 2 回配送	R6 年第 3 回配送	R6 年第 4 回配送	R6 年第 5 回配送	R6 年第 6 回配送
東山区	6 月	8 月	9 月	11 月	1 月	3 月
配送世帯 数	46 世帯	46 世帯	46 世帯	46 世帯	46 世帯	45 世帯
実施方法 (梱包)	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア	ボランテ ィア
実施方法 (配送)	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト	ココネッ ト

※実施方法

ボランティアさんによる梱包
イオンさんへの委託
ココネットさんへの委託
その他

配送累計回数：36 回

延配送世帯数：5,018 世帯

(ii) 配送品内容

主食用食品	お米、玄米、餅米、そば、うどん、そうめん、パスタ 等	インスタント食品	ラーメン、焼きそば、味噌汁、スープ類 等
レトルト食品	カレー、牛丼、親子丼、麻婆丼 等	調味料	醤油、塩、砂糖、コンソメ、合わせ調味料、酒 等
缶詰	シーチキン缶、サバの味噌煮缶、サバの水煮缶 等	飲料	野菜ジュース、ソフトドリンク、きな粉、珈琲 等
お菓子類	スナック菓子、ケーキ、京都の銘菓、ラスク 等	日用品	子ども用マスク、マスク、消毒用アルコール、洗剤 洗濯洗剤 等
文房具類	鉛筆、消しゴム、学習用ノート 等	等 様々な商品を配送	

○今後の展望

令和6年度は6区での実施しており、次年度はさらに「右京区」での支援拡大を予定しております。皆様のご支援により、少しずつ支援させていただける世帯数も増えてまいりました。支援対象にまだ至っていないエリアからの支援ご希望のお声も届いております。これからも支援対象エリアを拡大していけるよう職員一同精一杯努めてまいります。また、各区内で当プロジェクトの子団体を設立し『届ける』、『繋げる』を一世帯でも多く一人でも多くの方々のサポートができるよう当プロジェクトが中心となって進めてまいります。

4/14 Sun

開催場所

御所の杜ほいくえん

開催時間

小学1～3年生(親子で体験)

1部: 13:30-15:00

小学4～6年生(お子さま体験)

2部: 15:30-17:00

参加者

1部 20組(親子参加)

2部 40名

対象行政区

全6行政区分



和菓子作り体験

季節の和菓子

上生菓子作り体験

京都子ども宅食プロジェクト

目的 背景

日本には和菓子という伝統的なお菓子が昔からあり、その製造には和菓子職人の手による繊細な技術が必要だということを、実際に和菓子作りを体験することによって知って欲しい。スナック菓子のような現代のお菓子ではなく、餡子など、日本の甘味を好きになって欲しい。それをきっかけに、日本独自の食文化に関心を持ってもらいたいという想いで開催させていただきました。

成果 所感

子どもたちは、講師の本田カズ子様、順子様の指導の下、まず初めに桜の形の和菓子を作りました。基本的な作り方を学んだところで、2個目は「大切な人へ送る」をテーマに、それぞれ自由に製作してみることに。星型やハート型、キャラクターを模したものなど、個性溢れる和菓子が誕生し、会場は大いに盛り上がりしました。

最終的に食べてしまうものであっても、芸術作品のように丁寧に製作する日本の伝統や風情のようなものを感じ、和菓子の良さを知ってくれたのではないかと感じています。

参加者 のお声

参加のきっかけ：子どもと一緒に何かをしたい。こどもに聞いたらやりたいといったから。

「京都の文化に触れられ和菓子とはどういった思いを込めてデザインされているかが理解できたし、実際にやってみるととても難しかったと子供たちが言っていました。初めての体験だったので、印象深かった出来事になると思います。」「丁寧に教えてくださって、子どもができた！を体験できたことがありがたかったです。」「和菓子の作り方に加えて、和菓子の五感での楽しみ方を教えてくださり嬉しかった。」



協賛 | 養老軒様、葵餅様、山科鳴海餅様、
元・美よし菓舗様、グレース・セゾン様

物品提供 | 井上敦子様、山梨製餡様

8/22 Thu



しば漬け作り

おいしいお漬物を

子どもたちへ

開催場所

土井志ば漬本舗

開催時間

14:00

対象行政区

無し(事務局員の参加)

参加者

京都府漬物協同組合 約30名



京都子ども宅食プロジェクト

目的・背景

「みんなで作った気持ちのこもったお漬物を届けたい」
兼ねてより京都府漬物協同組合様からは宅食の配送にお漬物の提供を頂いており、当プロジェクトについて理解をしていただけている状態であったため、スムーズに準備が進みました。
既製品ではなく当プロジェクトのロゴの入った、宅食のために作業、製造したしば漬けが、後に各家庭へ届くことになります。このしば漬けを見て、自分たちのために尽力してくれる人達がいるということが利用者さんへ伝わり、少しでも心の支えになればという願いの元、開催させて頂きました。

成果・所感

各家庭にお届けしている食品が既製品であれば、お子さまの好き嫌い次第で、代わりに保護者が食べましたということもたくさんあると想像できます。その点、今回の取り組みであれば、「せっかくみんなのために作ってくれた物だから一つでも食べてみよう」と、子どもに伝えやすく、普段は食べないお子さまも食べてくれるのではないのでしょうか。
その中から一人でも多くのお子さまが、おいしいと感じ、お漬物が好きになってくれれば、この取り組みは成功であったと考えています。

利用者のお声

- ・お漬物を食べさせたことがなく食べるか不安でしたがおにぎりになると「おいしい！」と食べてくれました。成長を感じれて嬉しかったです。
- ・私たちのために皆様ありがとうございます。少しでも誰かのためになれるよう、私も頑張ります。
- ・チラシをみて漬物を作る工程に興味があって、検索してみました。いろいろな種類作り方があって子どもと盛り上がりました。また違う種類も食べてみます！



11/3 Sun

開催場所

本門佛立宗 宥清寺

開催時間

10:00

対象行政区

全区

(中京・上京・伏見
・山科・東山・北)

参加人数

12世帯40名

(参加総数は156名)



和太鼓体験

泣いても、笑っても、立ち歩いても
大丈夫な太鼓を打つコンサート



京都子ども宅食プロジェクト

目的 背景

当プロジェクトでは、子どもたちが様々な文化に触れ、体験する機会を提供するためのイベントを開催してきました。京都芸術大学の恵炎様や熊本県様は、昨年にもコンサートにご協力いただいております非常に好評であったため、今年も無事に継続開催することができました。会場の宥清寺様にもご協力を頂き、仏具としての太鼓にも触れることができる場を設けました。子どもたちが音楽の文化に興味を持つきっかけとなることを願って開催いたします。

成果 所感

和太鼓の演奏は音と一緒に衝撃を感じるような大迫力のものでした。その後の体験の時間では、子どもだけでなく保護者の皆様も「やってみたい!」と、子どもと一緒に演奏をされており、家族みんなの思い出に残るコンサートになったのではないかと感じています。

イベント前半に行った式典について、子どもが退屈していたという声を頂戴しており、楽しい時間を長く確保できるよう、今後のイベント内容・時間配分等の運営を考えていく必要があると感じました。

利用者 のお声

・子供に経験させる、本物を間近で見る、体験するという事が大事なので、中々無い貴重な経験をありがとうございました!

・迫力があり、座って叩いたり、動きながら叩いたり動きもあり、子供も真剣に集中して見れていました。実際に太鼓を叩かせてもらい、帰宅してからも叩く練習をしておりますとてもいい体験になりました。



©2010熊本県くまモン



協賛 | 本門佛立宗宥清寺様

京都芸術大学和太鼓教育センター恵炎様 熊本県様

物品提供 | 京都府漬物協同組合 様

森永乳業株式会社 様

11/16 Sat

開催場所

京都信用金庫伏見支店

開催時間

一部 10:30～12:00

二部 13:00～14:30

対象行政区

伏見区・山科区・

東山区

参加人数

16世帯大人25名 こども28名

かす汁を楽しむ会



京都こども宅食プロジェクト

目的 背景

伏見は歴史ある酒蔵の町として日本でも有名です。伏見で古くから親しまれてきた地域食に、酒粕を用いた「粕汁」があります。伏見で今年醸造された日本酒の酒粕を用いた粕汁を、複数の飲食店様にご提供頂き、食べ比べという形で試食できるようにしました。伏見の食文化に触れながら温まってもらえる場を設け、地域の暮らしに関心を持ってもらいたいという想いで開催させていただきました。また、様々な体験ブースを京都南ロータリーアクト様にご協力いただき、お楽しみいただきました。

成果 所感

「かす汁が苦手で。。」というお子さまも、「このかす汁なら食べれました！」と笑顔でお楽しみいただく様子が多くありました。2階の体験スペースでは、多くのスタッフによるサポートで、保護者様は座ってみていただけるなど、休憩と成長を感じられる空間となりました。

次年度の開催に向けすでに企画は動いており、さらなる内容の向上を目指し企画を進めて参ります。

利用者 のお声

- ・ 毎年子供が美味しいと言って食べてくれるので嬉しいです。
- ・ 入った時からいろんな方が順次声かけて遊んでくれてありがとうございました。どのお兄さんもお姉さんも素敵な方ばかりで終始楽しんでました。
- ・ 何種類か違うお店から出されていたので選ぶのが難しいと言うか、各粕汁の特徴などを教えていただきたかった。



協賛 | 京都信用金庫様、京都南ロータリーアクト様

物品提供 | ワケンホールディングス様
アビオスファーム様

12/14 Sat

開催場所

京の食文化ミュージアム
あじわい館

開催時間

14:00～16:00

対象行政区

北区・上京区

参加人数

9世帯 24名



家族で楽しむクリスマス会
グラスケーキを作ろう



京都子ども宅食プロジェクト

目的 背景

家族でクリスマスを楽しんでももらいたい！

ささやかではありますが、多くの子どもたちにクリスマスの体験をしてもらい、周囲の参加者と温かい気持ちや雰囲気共有して欲しい、保護者も子どもと一緒に楽しい時間を過ごして欲しいという想いで開催させていただきました。また、世界のクリスマスについてもお話しし、お楽しみいただきました。

成果 所感

皆さんが作ったグラスケーキは、クリームもフルーツも盛り沢山のとても立派なもので、「全部食べたら夜ご飯が食べられなくなるで～」と笑いながら食べておられました。クリスマスカード作りの時間と、世界のクリスマスについてクイズで学ぶ時間もあり、盛り沢山の内容でしたが、時間が押してしまい、終盤は駆け足で慌ただしく進行せざるを得なくなっていました。時間配分が今後の課題であると感じました。

利用者 のお声

- ・ いろんな人と関わってあっという間の時間でした。
- ・ ケーキが家で作るよりフルーツが豪華でいろんな味を楽しめた！
- ・ クッキーもっと型抜きしたかった様子。時間が少し短かった。
- ・ すっかりカード作りに目覚めていいところが引き出せたと思います。
- ・ 親も楽しかったです。



協賛 | 京都信用金庫様

物品提供 | 京都信用金庫様、京都パレスワイズメンズクラブ様

2/15 Sat

開催場所

御所の杜ほいくえん

開催時間

9:30-15:30

参加者

5名

対象行政区

全6行政区分



ドリームマップをつくらう！



京都こども宅食プロジェクト

目的 背景

「相対的貧困層」の子どもたちは、「体験が少ない」ことで自分がやりたいことをイメージしにくい環境にあります。

自分の知らない物事や世界を知り、出来る出来ないに関わらずイメージをどんどん膨らませ、やりたいこと、なりたい自分について考える「ドリームマップを作ろう」の取り組みによって、子どもたちの未来へ対する前向きな気持ちを引き出すことを目的として開催致しました。

成果 所感

序盤はみんな緊張しており、意見を言うことを躊躇ったりしていたが、徐々に慣れてきて色々な意見が言えるようになりました。

作業をしていく中で、自分のやりたいことのイメージが少しずつ出来上がり、最終的には素敵なドリームマップを作ってくれました。

子どもたちの夢や、やりたいことの選択肢を広げるためにも、今後もいろいろな体験の機会を提供していく必要を感じました。

参加者 のお声

・バスケットボールを習っているんですけど、どんな選手になりたいかイメージが膨らんで、より一層バスケを頑張ろうという気持ちになってくれたようです。

・今まで将来の夢がよく分からない様子だったが、具体的な職業を答えられなくても、「こんな大人になりたい」というふわっとした考えでも立派な将来の夢だと感じてくれたようでした。



協賛 | 一般社団法人ゆめのチカラ様

NPO法人こどものみらいプロジェクトゆめドリ様

3/2 Sun

開催場所

御所の杜ほいくえん

開催時間

13:00～15:00

対象行政区

中京区・北区・東山区

参加人数

26世帯



服・雑貨の受け渡し会



京都こども宅食プロジェクト

目的 背景

リサイクルショップ スタイル様より、数多くの衣類品をご寄贈いただき開催させていただきました。「普段、自身の洋服は後回しにしている」という声は非常に多く、その分を生活費に回しているご家庭が多い印象です。そのため、衣類品のご提供を通し、保護者の皆様にお楽しみいただければと願っております。

成果 所感

プロジェクトとしては、衣類品の受け渡し会は初めての開催であり、需要がどれほどなのかわかっておりませんでした。当日、保育園まで受け取りに来ていただき、「好きなだけお持ち帰りください」としました。帰り際に、「自分の服なんて何年ぶりに手にしました。嬉しいです！」とお声がけいただきました。

今回は、スタイル様の御協力があり大量支援が叶いました。今後も数量は限られてきますが、衣類品等のご提供は開催できればうれしいと感じました。

利用者 のお声

- ・新しく自分の服を手にしたのは本当に久しぶりです。数量の制限もなくたくさんいただきありがとうございます。次の休みの日が楽しみです♪
- ・こども服もあって、兄弟でお揃いの服を選びました！お兄ちゃんが特に気に入っていて、遊びに行くたびにこれにしようって選んでいます。(笑)ありがとうございました。

2020



物品提供 | リサイクルショップ スタイル様

3/16 sun

開催場所

御所の杜ほいくえん

開催時間

小学1～3年生(親子で体験)

1部: 13:30-15:00

小学4～6年生(お子さま体験)

2部: 15:30-17:00

参加者

1部 17組(親子参加)

2部 25名

対象行政区

全6行政区分



和菓子作り体験

季節の和菓子

上生菓子作り体験



京都こども宅食プロジェクト

目的 背景

養老軒様、他皆さまにご協力いただき、2回目の開催です。

日本には和菓子という伝統的なお菓子が昔からあり、その製造には和菓子職人の手による繊細な技術が必要だということを、実際に和菓子作りを体験することによって知って欲しい。スナック菓子のような現代のお菓子ではなく、餡子など、日本の甘味を好きになって欲しい。それをきっかけに、日本独自の食文化に関心を持ってもらいたいという想いで開催させていただきました。

成果 所感

子どもたちは、講師の本田カズ子様、順子様の指導の下、まず初めに桜の形の和菓子を作りました。基本的な作り方を学んだところで、2個目は「大切な人へ送る」をテーマに、それぞれ自由に製作してみることに。星型やハート型、キャラクターを模したものなど、個性溢れる和菓子が誕生し、会場は大いに盛り上がりしました。

最終的に食べてしまうものであっても、芸術作品のように丁寧に製作する日本の伝統や風情のようなものを感じ、和菓子の良さを知ってくれたのではないかと感じています。

参加者 のお声

・和菓子が苦手そうな娘でしたが、自分で作成した和菓子は喜んで食べていました。スーパーなどでも似た和菓子があると「あっ！」と興味を示します。和菓子への考えが変わったみたい。楽しい時間でした。ありがとうございました！

・子どもの何かに取り組む姿をみることができ嬉しかったです。できるんだなあ笑

・親子の絆で参加しました！たまにお家でホットケーキなど作るので、また違った体験ができて親子ともに楽しめました^^和菓子おいしかったです♪ありがとうございました。



協賛 | 養老軒様、葵餅様、山科鳴海餅様、
元・美よし菓舗様、グラス・セゾン様

物品提供 | 井上敦子様、山梨製餡様

スポーツ観戦ご招待



 京都こども宅食プロジェクト

バレーボール（サントリーサンバーズ大阪）

チケット提供：高橋藍・塁選手

令和7年2月1日(土) vs ジェイテクトSTINGS愛知 24席

令和7年3月30日(日) vs ヴォレアス北海道 24席

バスケットボール（京都ハンナリーズ）

チケット提供：(仮)長谷幸コーポレーション様

令和7年1月26日(日) vs 広島ドラゴンフライズ 30席

チケット提供：一般社団法人京都府バスケットボール協会様

令和7年2月8日、9日 vs 横浜ビー・コルセアーズ 126席

令和7年4月16日(水) vs 佐賀バルーンズ 100席

令和6年度こども宅食プロジェクト 利用者様からのお声

宅配はもちろんありがたいのですが、観戦・鑑賞・体験など、なかなかさせてあげられない経験をさせていただけるとてもありがたく、子ども達も嬉しく思っています。

毎回温かい配達をありがとうございます。
支えていただいている方々がいることを感じることで、親子ともに気持ちに余裕が生まれたような気がしています。今は支えてもらっているけれど、いつかは誰かを支えられるようになれたら良いね。と子供と未来の話が出来ました。
この場を借りて感謝申し上げます。
配達の商品は毎回こどもの好物がたくさん入っており、なんで私の好み分かるんだろう？と本気で不思議がっていました。あとこの物価高騰の中、お米の支援には本当に助けていただきました。いつも寄り添っていただきありがとうございます。



物価高騰など、生活することに変な事ばかりで、子供の前でもお金が無いが口癖になってしまっていますが、宅配をいただくと優しい気持ちになります。ありがとうございます。
私が仕事から帰宅する前に子供に開封させていますが、真っ先に菓子を食べたりすごく喜んでいます。

いつも、素敵な企画をありがとうございます！
親子で参加させていただけるとは、日頃なかなか時間を取ることが難しい、子供のお出かけイベントとして活用させて頂いています。
夏休みや、冬休みのお休み期間になかなか金銭的余裕がなく、お出かけへ連れて行ってあげられないので、お休み期間の思い出として参加させていただくことができ、子どもだけじゃなく、親としてもお出かけに連れて行ってあげられた！ととても嬉しいです。ありがとうございます。

いつもありがとうございます！本当に助かっています。物価高で、お米が買えなかった時は、どうしようかと悩んでましたが、宅食プロジェクトのおかげで、親子共々、耐えられました。たくさんの愛情がこもった宅食は、私達親子を笑顔にしてくれるお届け物です。これからも、届くの子どもと一緒に楽しみに待っています。いつも、助けて下さって、ありがとうございます！
いつも助かっています。本当にありがとうございます！子ども達も、ダンボールを見ると、好きなお菓子が入っていないか楽しみに開けています！嬉しいね！ありがとうございますだね！と自然と笑顔と会話が生まれます。
毎日バタバタでなかなか構ってやれないですが、届いたその日は、一つずつ一緒に食品棚へしまいながら会話を楽しんでいます。笑顔も子ども達とのコミュニケーションの時間まで届けて下さり、ありがとうございます！



宅食が届く度に、大丈夫か？がんばりや！とメッセージが伝わってきます。大変有り難く心温まりますし、不安で心細い気持ちが減りました。

いつもダンボールがとても重く、受け取るうとしたら「重いので置かせてもらいます」と、玄関中にあげてくださいます。内容だけではなく、配達まで気を遣ってください。母子家庭としてはいつもありがたいと感じています。

いつもありがとうございます。値段を見て買うのをやめた商品を頂けたり、節約をしようとする結果、同じメニューになりましたがいろいろなるものを食べさせてあげられることがほんとに有難いです。助けていただいています。



子ども達も、宝箱を開けるように楽しみにしています！開けたら、これ！僕の！私の欲しかったやつ！これ、スナック！と楽しみにしていて、笑顔が溢れます。好きなお菓子が入っていた時は、取り合いです笑必要な物だけでなく、笑顔や楽しみまで届けてくださり、本当にありがとうございます！